

環境学習会

「環境学習会」×「ecoサッカー教室」



秋田県産業廃棄物協会 ×ブラウブリッツ秋田



平成28年9月10日（土）に、青年部会の環境教育事業として、協会賛助会員の『ブラウブリッツ秋田』と共同で、秋田県内の小学生を対象とした、『第2回 ECOサッカー教室』を開催しました。昨年10月の開催に続き、2回目の開催となる今回も、江戸時代の3Rを題材とした環境教育と、ゴミの分別方法を取り入れたサッカーゲームの二部構成で行いました。

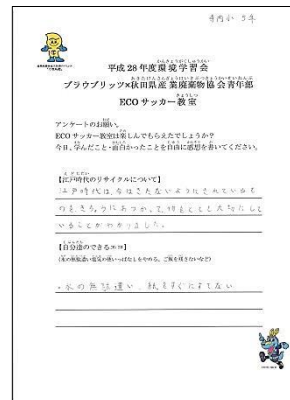
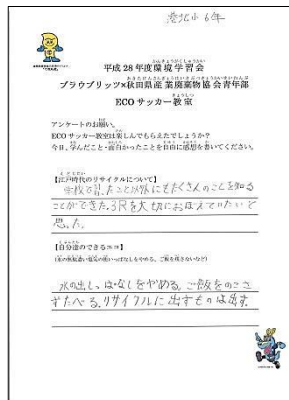


開催式には、山岡会長から出席いただき、参加小学生に向け、『サッカーを通して、環境にたいして、少しでも興味を持ってもらいたい』と挨拶をいただきました。また、ブラウブリッツ秋田の岩瀬社長からは、『生まれ育った秋田を、みなさんの手できれいにしながら、サッカーを通じて、将来は秋田に残り、盛り上げてほしい』と激励いただきました。

第一部の環境教育は、高島青年部会長が講師となり、スライドとビデオを使い、小学生でも飽きにくく、分りやすく、ユーモアを交えた講義となりました。現代よりも、ひとつひとつの物を大事につかった江戸時代のリサイクルにヒントを示しながら、『将来は他県に出ずに、故郷秋田で、環境に関わる仕事を考え、起業し、秋田を盛り上げてほしい。』と締めくくりました。



講義終了後、参加小学生からアンケートをたくさんいただきました。



続いて、グラウンドに移り、プロチームのコーチによるサッカーゲームを行いました。ゲームでは、ゼッケン（ビブス）に、可燃・不燃・資源などのイラストを貼り、同類のゴミ同士のパス回しをしながら、サッカーで大切な瞬時の判断力を身に着けるトレーニングをしました。



今回もブラウブリッツ秋田のプロのサッカー選手2名が参加いただき、子供たちは、目の当りにするプロの技に魅了されながら、環境を考えるあっという間の3時間となりました。



青年部会会員自身も、事業を通し、改めて環境を復習できる『自己研鑽』の場となりました。今後も一過性のものとせず、継続事業として開催していきたいと思えます。

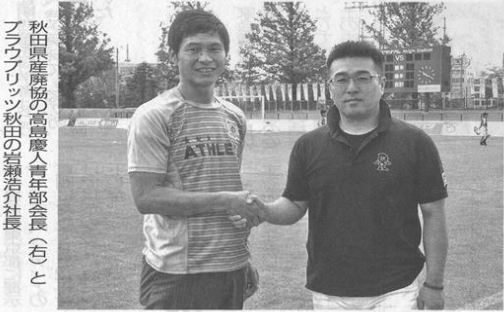
9/21 掲載「環境新聞」

プロチームとのコラボで「ecoサッカー教室」を開催

秋田県産廃協青年部



正しいゴールを判断してシュートする「分別サッカーゲーム」を実施



秋田県産廃協の高岡慶人青年部会長（右）とフロンテックス秋田の岩瀬浩介社長

ごみの分別とサッカートレーニングを融合、他県からも注目

秋田県産廃協青年部会、同協会員でも多くのサッカーチームフロンテックス秋田と共同で10日、秋田県内の小学生を対象とした「ecoサッカー教室」を同チームのサッカー場であるまきんスタジアムで開催した。産廃協の事業として、小学生を対象に環境教育を行う取り組みは他地域でも見られるが、秋田のようプロスポーツチームのコラボレーションで行うのはあまり見ない。また、サッカー教室はごみの分別を習いながらサッカーの技術も学べる工夫を凝らしたメニューとなっており、同様に環境とスポーツを合わせる取り組みを模倣する他県自治体からも問い合わせが来るなど注目を集めている。

同協会フロンテックス秋田のecoサッカー教室は、昨年10月に続いて今回で2回目の開催となった。同協会青年部会メンバーとフロンテックス秋田のコーチが企画・運営を務め、サッカー教室はごみの分別とサッカーの技術を習得し、環境を学ぶという目的で開催された。イベントは室内の環境学習と、グラウンドでのごみ分別を結びつけたフロンテックス秋田のecoサッカー教室の2部構成で実施された。開会式では同協会の

山岡緑三郎会長も参加し、ごみ分別の重要性を子供たちに「今日から実践しよう」と呼びかけた。環境学習とサッカー教室では、ごみの分別とサッカーの技術を習得し、環境を学ぶという目的で開催された。開会式では同協会の



協会青年部メンバーとチームのコーチたちが企画・運営、30人の小学生を招いた

高岡氏はこの形式について、「ごみの分別について学べるのと同時に、環境を確保し、ごみ分別の重要性を子供たちに伝えることが目的」と話した。また、ごみの分別とサッカーの技術を習得し、環境を学ぶという目的で開催された。開会式では同協会の

ごみ分別の重要性を子供たちに「今日から実践しよう」と呼びかけた。環境学習とサッカー教室では、ごみの分別とサッカーの技術を習得し、環境を学ぶという目的で開催された。開会式では同協会の

ごみ分別の重要性を子供たちに「今日から実践しよう」と呼びかけた。環境学習とサッカー教室では、ごみの分別とサッカーの技術を習得し、環境を学ぶという目的で開催された。開会式では同協会の

ごみ分別の重要性を子供たちに「今日から実践しよう」と呼びかけた。環境学習とサッカー教室では、ごみの分別とサッカーの技術を習得し、環境を学ぶという目的で開催された。開会式では同協会の